

MMO ゲーミングキーボード TK-DUX30BK ドライバー設定ガイド

このドライバー設定ガイドは、"TK-DUX30BK"に付属のドライバーを使った、すべてのキーへの機能割り当てやマクロの設定などの操作について説明しています。

※ドライバーのインストール方法については、"TK-DUX30BK"に付属のユーザーズマニュ アルをご覧ください。

※このドライバー設定ガイドは、Windows[®] 10 の画面で説明しています。 画面は OS によって異なりますが、操作は同じです。

ドライバーを起動する	⇒ 2 ページ
ドライバーの画面について	⇒3 ページ
「キーの機能を設定する	●5 ページ
各種機能設定画面を起動する	⇒14 ページ
マシーを設定する	⇒19 ページ

ドライバーを起動する

■ タスクトレイまたは通知領域の プアイコンをクリックして「設定 画面を開く」をクリックします。



Windows[®] 10、Windows[®] 8.1/8、Windows[®] 7 で通知領域に
 が表示されている場合は、
 をクリックして
 アイコンを右クリックし、「設定画面を開く」をクリックします。

2 ドライバーの設定画面が表示されます。

ゲーミングキーボードを接続後、ドライバーの初回起動時は、ゲーミングキーボードの 本体メモリに保存されている設定が読み込まれます。









1 プロファイル選択部

5 つのプロファイルが設定できます。5 つのプロファイル(プロファイル1~5) にそれぞれ異なるボタン設定を登録でき、プロファイルを切り替えることで設定をまとめて切り替えることができます。

詳細は、●「キーの機能を設定する」を参照してください。

2キー選択部

機能を設定したいキーを選択します。キーに機能が設定されているとキーが に変わります。キーを選択すると機能設定部にキーの名称と機能名が表示されます。 詳細は、⊃「キーの機能を設定する」を参照してください。

3機能設定部

選択されているキーに割り当てられている機能が表示されます。

キーの機能を変更するには、機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を 選択します。

詳細は、●「キーの機能を設定する」を参照してください。

4 各種機能設定ボタン

本体メモリ管理、マクロ設定画面、その他機能設定をする画面を起動します。 詳細は、**○**「各種機能設定画面を起動する」を参照してください。

5 PC1/PC2 一括編集ボタン

本製品ではご使用になれません。TK-DUX50BK 専用の機能です。

⑥キーボード・マウス切替ボタン

本製品と弊社製 MMO ゲーミングマウス「M-DUX70BK」を同時に使用する場合に、 ドライバー設定画面を切り替えて使用できます。



プロファイルを選択する

最初にプロファイルを選択します。キー設定の内容が、選択したプロファイルに登録されます。

チャットや文字入力用に設定を変更しないプロファイルを1つ残しておくこと をお薦めします。



キーの機能を設定する

キー選択部で機能を設定したいキーをクリックして選択します。キーを選択すると機能 設定部にキーの名称と機能名が表示されます。



キーの機能を変更するには、機能設定部で機能名をクリックし、表示されたボタン設定 画面で機能を選択します。

キーの機能を設定するには

次の手順は、「F8」に「音量ミュート」を割り当てる場合を例として説明します。

■キー選択部で設定したいキーをクリックします。

機能設定部に選択したキーの設定内容が表示されます。

DUR GAMING SOFTWARE	MOUSE	KEYBOARD
-B2	F8	
		PC1/PC2 —法編集
本体メモリ始現 <u>マクロエディタ</u> マクロエディタ		その他機能

2機能設定部で機能名をクリックします。

ボタン設定画面が起動します。

DOT GAMING SOFTWARE	MOUSE	KEYBOARD
年-1872 F	F8	
		PC1/PC2 —括編集
	ee eee	
		EDDE
	ELEC [®] m	
		1 2 3
	_	
本株メモリ管理 てクロエディタ		その他感能
ソフトウェアVer:1.4		

Ⅰ ボタン設定画面の「音量」の「音量ミュート」をクリックします。

選択した機能が赤く表示されます。

設定できる機能の詳細は、●「ボタン設定画面」を参照してください。







5 キーに機能を設定するとキーの色が濃い赤色になり、 ○マークが表示されます。 これで、キーに機能が設定されました。

GAMING SOFTWARE		
1 − B∕2	↑–ב2⊒₽	
		⁶⁸ 0
本株メモリ管理 マクロエディク		
עריקע איז		

[F8]を押すと、「音量ミュート」が実行されます。

ボタン設定画面

			音里		
				音量上げる	音量下げる
				音星ミュート	
	ボタン5 (進む)				
トイール			その他機	能	
<u> </u>				メディアプレーヤーを聞く	Webブラウザを開く
•				マイコンピュータを聞く	設定画面を開く
				電卓を開く	
斄			70771	()l	
		一時停止	_	プロファイル変更	
())			1 🚨 1		
				7077114	วี่มวทาใไว
ーボード		マクロ			
	登録するキー選択	登録するマクロ選択			
	and the second se				

マウス

左クリック	左クリックします。
右クリック	右クリックします。
ホイールクリック	ホイールをクリックします。
	ボタン4の機能を割り当てます。Webブラウザでは「戻る」
ホタノ4 (庆る)	操作になります。
	ボタン5の機能を割り当てます。Webブラウザでは「進む」
小グノ5(進む)	操作になります。

ホイール

ホイール UP	ホイール UP の機能を割り当てます。
ホイール DOWN	ホイール DOWN の機能を割り当てます。
チルト左(左スクロール)	Web ブラウザ等で左にスクロールします。
チルト右(右スクロール)	Web ブラウザ等で右にスクロールします。

音楽

再生 / 一時停止	メディアプレーヤーを再生 / 一時停止します。 [※]
停止	メディアプレーヤーの再生を停止します。**
あのトニック	メディアプレーヤーの次のトラック / チャプター / ファイルの
次のトラック	先頭に進みます。*
前のトニック	メディアプレーヤーの1つ前のトラック / チャプター / ファイ
前のトラック	ルの先頭に戻ります。*
· · · · · ·	

※使用するプレイヤーソフトによっては動作しないことがあります。

音量

音量 上げる	Windows [®] の音量設定を上げます。
音量 下げる	Windows [®] の音量設定を下げます。
音量ミュート	Windows [®] の音量設定を消音にします。

その他機能

設定画面を開く	ドライバーの設定画面を開きます。
Web ブラウザを起 動	標準の Web ブラウザを起動します。
マイコンピュータを	Windows [®] のエクスプローラから[PC] (Windows [®] 7 では[コ
開く	ンピューター」)を開きます。
メディアプレイヤー	既定のプログラムに設定されているメディアプレイヤーを起動
を開く	します。
電卓を開く	電卓を起動します。

プロファイル

プロファイル変更	プロファイルを順に切り替えます。
プロファイル 1	プロファイル1に切り替えます。
プロファイル 2	プロファイル2に切り替えます。
プロファイル 3	プロファイル3に切り替えます。
プロファイル 4	プロファイル4に切り替えます。
プロファイル 5	プロファイル5に切り替えます。

「プロファイル変更」を割り当てる場合、すべてのプロファイルで同じキーに割り当てることを推奨します。 すべてのプロファイルに割り当てない場合、連続して押しても切り換えがループし

なくなります。

キーボード

表示されたキーボード上で選択した任意のキーを一つのキーに割り当てます。

- ソフトウェアキーボード	۲
واواوا وافاها ولينابذ بالجاب والماخات والماحات	
отп. 4 Ал 1939 — 19 22 4 Ал В отп. • • • 2 4	
ТРУЕЛ ОК	

《設定方法》

① 登録するキー選択 をクリックします。

キーボード設定画面が表示されます。

②設定したいキーをクリックします。

選択したキーには[]が付きます。

- ・「Ctrl」、「Shift」、「Alt」など、同時押しが可能なキーと組み合わせて設定する ことができます。
 - ・この画面で同時押しが設定できないキーは、マクロを使用して同時押しが設定できます。
 ○「マクロを設定する」
- ③ ~ をクリックし、キーボード設定画面を閉じます。

選択したマクロをキーに割り当てます。

マクロ設定画面の詳細やマクロの作成方法については、 ⊃「マクロを設定する」を参照 してください。

\$-7	ボードに保存したマクロ	I 🛞
1	Key_01_Pro2	160 bytes
1	Key_01_Pro1	36 bytes
	\$r>tu	マクロ登録

《設定方法》

① 登録するマクロ選択 をクリックします。

マクロ選択画面が表示されます。

②設定したいマクロをクリックします。

③ マロ登録 をクリックし、マクロ選択画面を閉じます。

マクロを設定したキーのマクロを削除すると、キー設定は初期設定に戻ります。



クリックすると登録した機能を「なし」の状態にします。

初期設定に戻す ボタン

クリックすると現在設定されている機能を初期設定に戻します。

キャンセル ボタン

クリックすると選択した機能を設定せずにメイン画面に戻ります。

登録する ボタン

ボタン設定画面で選択した機能をキーに登録します。

各種機能設定画面を起動する

本体メモリ管理、マクロ設定画面、その他機能設定をする画面を起動します。



「本体メモリ管理」設定画面起動ボタン

クリックすると「本体メモリ管理」設定画面が起動します。





設定したゲーミングキーボードの本体メモリをパソコンのファイルとして保存します。 ボタンをクリックすると、名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。

🛃 マクロプロファイルを	保存する			×
$\leftarrow \rightarrow \land \uparrow$	> PC > ドキュメント	ٽ ~	ドキュメントの検索	م ر
整理 ▼ 新しいつ	フォルダー			811 - 👔
🛆 OneDrive	^ 名前	● 更新日時	種類	サイズ
PC		検索条件に一致する項目は	ありません。	
👃 ダウンロード				
📃 デスクトップ				
😤 ドキュメント				
📰 ピクチャ	v <			>
ファイル名(N):	keyboard_2015-12-04.xml			~
ファイルの種類(T):	プロファイル(*.xml)			~
▲ フォルダーの非表示			保存(S)	キャンセル

同じ名前のファイルがある場合、上書きしてもよいか確認

のメッセージが表示されます。

名前を付	けけて保存の確認		
	keyboard_2015-12-04.x 上書きしますか?	ml は既に存在しま	đ .
		はい(Y)	いいえ(N)

ファイルから設定を読込 ボタン

OK

パソコンに保存されているファイルをゲーミングキーボードの本体メモリに読み込みま す。

ボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。



■をクリックすると[開く]ダイアログボックスが表示されます。



保存したファイルを選択し、 ા≪◎ ▼をクリックします。

ゲーミングキーボードの本体メモリにファイルの内容が読み込まれます。

全ての設定をリセット ボタン

ゲーミングキーボードの本体メモリに保存したすべての設定(機能割り当て、キーボードに保存されているマクロなど)をリセットし、初期設定に戻します。 ボタンをクリックすると確認のメッセージが表示されます。



◎ĸ をクリックするとすべての設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

「マクロエディタ」起動ボタン

クリックすると「マクロ設定画面」が起動します。

マクロ設定	自画面				• •
	マクロの編集			キーホードに保存したマクロ	-
	動作タイプ	1回だけ実行する	36 bytes	+	
		End			
				>	
				XEV%#E:5120 bytes	
				レコーディング設定	
				 アクション間のウェイトもレコーディングする 	
				クリックした場所をレコーディングする	
	レコーディング	をクリア Hotkey設定 ファイルから記	売込ファイルに保存	 ()の 対応/UBIIUL 11/1943 () 対イズ重視 	

ー連の操作をマクロとして作成します。作成したマクロは、ゲーミングキーボードの本 体メモリに保存したあと、ボタン設定画面でボタンに割り当てることで使用できるよう になります。詳細は、**⇒**「マクロを設定する」を参照してください。

「その他機能」設定画面起動ボタン

クリックすると「その他機能」設定画面が起動します。



□ 設定変更時にミニウィンドウを表示する

チェックボックスをオンにすると、プロファイル切り替え時に設定内容をミニウインド ウでデスクトップの左上に表示するようになります。



本製品は設定をゲーミングキーボード本体に保存するので、ドライバーがイン
 ストールされていないパソコンでも設定は有効でですが、ミニウィンドウはド
 ライバーがインストールされていないパソコンでは表示されません。

□ Windows のマウスカーソル加速を強制的に無効にする

チェックボックスをオンにすると、Windows[®]のマウスカーソル加速を無効にします。 Windows[®]のマウスカーソル加速が有効になっている場合、マクロで「マウスカーソ ル移動」のアクションが正しく動作しません。

マクロを設定する

ー連の操作をマクロとして作成します。作成したマクロは、保存(ゲーミングキーボードの本体メモリに自動的に保存されます)した後、ボタン設定画面でキーに割り当てる ことで使用できるようになります。

マクロ設定画面



①キーボードに保存したマクロ

ゲーミングキーボードの本体メモリに保存されているマクロの名前と容量が表示されま す。



2メモリ残量

ゲーミングキーボードのメモリの残量が表示されます。マクロは 5Kbyte まで作成でき ます。

本体メモリの残量が足りない場合は、エディタの内容をファイルとしてパソコンに保存 する機能を利用してバックアップしたあと、本体メモリに保存されているマクロを削除 し、空き容量を確保してください。

③削除ボタン

ゲーミングキーボードの本体メモリに保存されているマクロを削除します。

①削除するマクロ名を選択し、 をクリックします	す。
削除確認のメッセージが表示されます。	
削除	
'Key_01_Pro1' を削除しますか?	
\$1>tu ок	

ок
 をクリックします。

ゲーミングキーボードの本体メモリからマクロが削除されます。

④キーボードにマクロを保存

エディタの内容をゲーミングキーボードの本体メモリにマクロとして保存します。保存 したマクロは「キーボードに保存したマクロリスト」に表示されます。

エディタの内容を新しいマクロとして保存するとき

- ①「キーボードに保存したマクロ」の + をクリックします。
- ② ●をクリックします。
 マクロ名を入力ダイアログボックスが 表示されます。
- ③キーボードでマクロの名前を入力します。

④ oк をクリックします。

新しいマクロが本体メモリに保存され ます。

保存したマクロ名と同じ名前の場合、新しいマクロとして保存できません。
 既存のマクロを上書きする場合は、「エディタの内容を作成済みのマクロに上書
 きするとき」の手順で上書きしてください。

17-
"Key_01_Pro1" はすでに登録されています。別の名前に変更してください。
ОК

マクロ編集	8
Key_01_Pro1	
キャンセル	ок

5 エディタに読み込み

「キーボードに保存したマクロ」のマクロをエディタに読み込みます。

作成済みのマクロをエディタに読み込むとき

- ①「キーボードに保存したマクロ」でマクロ名をクリックします。

エディタにマクロの内容が表示されます。

エディタの内容を作成済みのマクロに上書きするとき

- ①「キーボードに保存したマクロ」で上書きするマクロ名をクリックします。
- ② ⇒ をクリックします。

上書き確認のメッセージが表示されます。

上書き保存		
'Key_01_Pro1	' に上書きしますか?	
	\$P>2N	ок
	<u></u>	

③ ок をクリックします。

マクロが本体メモリに上書き保存されます。



1動作タイプ

マクロの動作タイプを設定します。

動作タイプをクリックするたびに、次の3タイプが切り替わります。

「1回だけ実行する」

「もう一度キーを押すまで実行し続ける」

「キーを押している間実行し続ける」

2編集中のマクロの容量

エディタで作成または編集中のマクロの容量を表示します。

3エディタ

マクロを作成します。マクロのコマンドおよびアクションは、エディタの上から順番に 動作されます。

コマンドまたはアクションを追加するとき

エディタ上の追加したいコマンドまたはアクションをクリックして選択①し、コマンド またはアクションのアイコンをクリック②します。

選択中のコマンドまたはアクションの上の行に新しいコマンドまたはアクションが追加 されます。







エディタの操作

- コマンドおよびアクションの順番はドラック&ドロップで入れ替えできます。
- 連続した複数のコマンドおよびアクションを選択するには、[Shift]キーを押しながらクリックします。
- コマンドおよびアクションをコピーするには、[Ctrl] キー+[C] キーを押します。
- コマンドおよびアクションを貼り付けるには、挿入したい位置の下のコマンドまたはアクションを選択し、[Ctrl] キー+ [V] キーを押します。選択中のコマンドまたはアクションの上の行に追加されます。
- ・コマンドおよびアクションを削除するには、[Delete] キーを押します。

エディタ上に表示されるアイコン

C	「ウェイト(待機時間)」コマンドを示します。ダブルクリックで表示されるダ イアログボックスで設定を変更できます。
*	「キーを押す」アクションを示します。
٠	「キーを離す」アクションを示します。
\checkmark	「マウスボタンを押す」アクションを示します。
	「マウスボタンを離す」アクションを示します。
3	「スクロールホイール上」アクションを示します。
O	「スクロールホイール下」アクションを示します。
R	「カーソル相対座標移動」アクションを示します。ダブルクリックで表示される ダイアログボックスで設定を変更できます。
R	「カーソル絶対座標移動」アクションを示します。ダブルクリックで表示される ダイアログボックスで設定を変更できます。
eretti	コマンドをマクロから追加したときに表示されます。レコーディングしたアク ションには表示されません。

4 エディタをクリア

エディタの内容をすべて削除します。

5 レコーディング

実際にキーボードやマウスボタンで操作した内容を記録し、マクロとして使用することができます。

レコーディングの準備状態に入り、[F10]
キー(初期設定)でレコーディングをスタート/ストップします。

6 Hotkey 設定

[F10] キーが他のアプリケーションソフトに割り当てられている場合は、レコーディングをスタート/ストップするキーを初期設定([F10] キー)以外に変更します。
 Hoteyöt をクリックし、設定するキーボードのキーを押します。

マクロの新規作成時、前の編集内容が表示されているときは 5742007 をクリックしてください。

7読み込み

ファイルとしてパソコンに保存したエディタの内容をエディタに読み込みます。

エディタの内容をパソコンに読み込むとき

(1) まみ込み をクリックします。

[開く] ダイアログボックスが表示されます。 ②保存したファイルを選択し、 ��(②) ↓をクリックします。

エディタにファイルの内容が読み込まれます。



8保存

エディタの内容をファイルとしてパソコンに保存します。

エディタの内容をパソコンに保存するとき

① 癖 をクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。 ②ファイル名を入力し、 保存(S) をクリックします。。



9 レコーディング設定

レコーディング機能を使ってマクロを定義する際の設定をします。



アクション間のウェイトもレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のウエイト(待機時間)も記録されます。

クリックした場所をレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のマウスカーソルをクリックした座標も記録されます。

マウスカーソルの軌跡もレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のマウスカーソルの軌跡も記録され ます。

レコーディングの精度を「精度重視」または「サイズ重視」から選択します。「精度重視」 は「サイズ重視」よりカーソルの記録間隔が細かくなり、なめらかなカーソル移動が再 現できますが、消費メモリサイズが大きくなります。

マクロを作成する例

次の手順は、キーボードの[H] キー、[e] キー、[l] キー、[l] キー、[o] キー、[Enter] キーを順番に押すマクロを作成する場合を例として説明します。

🚹 メイン画面で[マクロエディタ]をクリックします。



マクロ設定画面が起動します。





3 必要に応じて、レコーディング設定を設定します。

↓ レコーディングでマクロのコマンドまたはアクションを追加します。

① ○ レコーティンカ をクリックします。

②キーボードの [F10] キー(初期設定)を押し、レコーディングをスタートします。

- ③キーボードの [H]、[e]、[l]、[l] [o]、[Enter] の順にキーを押します。
- ④キーボードの [F10] キー(初期設定)を押し、レコーディングをストップします。

ウエイト(待機時間)を記録しない場合は、「アクション間のウェイトもレコーディングする」のチェックマークをはずしてください。

「キーボードに保存したマクロリスト」の + をクリックし、 ▶ をクリックし
ます。

マクロ名を入力ダイアログボックスが表示されます。

6マクロの名前を入力し、 をクリックします。

新しいマクロが本体メモリに保存されます。



「キーボードに保存したマクロ」には作成したマクロが表示されます。



7 🙆をクリックし、マクロ設定画面を終了します。

これで、マクロが作成されました。

作成したマクロは、ボタン設定画面でキーに割り当てることができます。

MMO ゲーミングキーボード TK-DUX30BK

ドライバー設定ガイド

2017年7月20日第2版

- ・本マニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本マニュアルの内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォ メーションセンターまでご連絡ください。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いか ねますのでご了承ください。
- •その他記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。